

# 【ライブ配信セミナー 第2弾】

守ることの失敗アプローチから加害者パターンベースドアプローチへのパラダイムシフト

## DVと子ども虐待が交差するケース

### における子ども福祉実践

#### —Safe & Together モデルから学ぶ—

無料

2024年

1月28日（日）

10:00～13:00

【当日ライブ配信視聴  
（アーカイブ配信含む）】

定員：400名（先着順）

※アーカイブ配信のみは別途受付

DVと子ども虐待が併存するケースへの支援方策は日本で確立されておらず、現場では様々な困難を感じる人が多いのではないのでしょうか。子どもとDV被害者である親の安全と福祉（ウェルビーイング）を高めるために、Safe & Togetherモデルを学び、日本での実践の変革のヒントを得ましょう。

Safe & Togetherモデルは、米国、オーストラリア、イギリスなどで広く取り入れられている以下に役立つ実践モデルです。

- ・子どもを中心としたより良い決定をすること
- ・DV被害者である親と有意義な協力関係を築くこと
- ・DV加害者への効果的な介入方法を開発すること

2回目の今回は創始者であるデイビッド・マンデル氏よりモデルの概要に加え、加害者への関わりや面接の基本視点について学びます。

講師



David Mandel  
（デイビッド・マンデル）

Safe & Together Institute  
Executive Director, MA,  
LPC (Licensed Professional  
Counselor)

米国において30年以上、DV加害者臨床・DV被害者支援の専門家として従事。児童福祉機関での長年の業務を経て、子どもが関わるDVケースにおける機関連携の改善に向けSafe & Together Modelを開発。国内の10以上の州における児童福祉制度のコンサルタントを担う。近年は、国外においても、研究、研修及びコンサルタント活動を展開。

#### 内容

##### ●プレセミナー

「実践の変革に向けて—現在の位置と強圧的コントロールの基本理解」  
日本福祉大学社会福祉学部 准教授 増井香名子 ほか

##### ●セミナー

###### ①基調講演（逐次通訳）

「DV加害者への方策：エンゲージメントとアカウンタビリティ（説明責任）  
～親としての加害者に関わる～」

Safe & Together Institute エグゼクティブ・ディレクター  
デイビッド・マンデル（David Mandel）

###### ②質疑応答（逐次通訳）

同上（※日本からの質問にマンデル氏が直接答えます。）

#### 対象

- ・児童福祉機関で勤務する専門職及び職員
- ・DV被害者支援に関わる機関で勤務する専門職及び職員
- ・その他子ども虐待及びDV被害者支援に関わる専門職

#### お問合せ

【事業受託】ドーン財団（一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団）  
〒530-0043 大阪市北区天満1-5-2 トリシマオフィスワンビル803  
TEL 06-7494-3005 FAX 06-7494-3006  
Email jigyo@dawn-ogef.jp URL <https://www.dawn-ogef.jp>

#### 【お申込みフォーム】



申込締切り

2024年  
1月23日（火）

【主催】日本福祉大学社会福祉学部 増井香名子研究室 【共催】DV被害者と子どもの支援実践研究会（FaV-RIC）

本セミナーは、科研費22H00935「DV・児童虐待併存ケースの子ども家庭福祉等実践モデルと専門職育成に関する研究」（代表増井香名子）・科研費20K02262「市配置婦人相談員のDV等困難な状況の女性への支援実態と市町村での支援のあり方研究」（代表岩本華子）・「日本福祉大学国際学術交流（研究者短期招聘事業）」の助成を受け実施しています。



Concrete strategies.  
Meaningful tools.  
Real change.



*Safe & Together™:  
An Introduction to the Model*

eラーニング (Eコース) 日本語版

**Safe & Together™ :**  
**イントロダクション【モデル入門】**

”Safe and Together“とは、  
「子どもの福祉（ウェルビーイング）と  
家族の機能に危害を及ぼす加害者に  
親としての責任を追究しながら、  
大人のドメスティック・バイオレンス  
サバイバーと子どもが安全に、  
ともにいられるように努力すること」が  
子どもにとって最も良い結果を  
もたらすという信念を表しています



**CONTACT  
US NOW**



1.860.319.0966



connect@safelandtogetherinstitute.com



Safe & Together  
Institute  
PO Box 745  
Canton, Ct 06019

Safe and Together™ Modelは、国際的に認知された一連のツールであり、子どもや家族を支援する機関（システム）がDV・インフォームドになるように設計された支援・介入方策です。このモデルは、米国や他の国々でこのモデルを実施した長年の経験に基づいて改良され続けており、ドメスティック・バイオレンスと子どもの虐待の交差に関連する専門的能力と機関（システム）間の協働の向上に役立ちます。

この「子ども中心モデル」は、非加害保護者（大人のサバイバー）と一緒に、子どもの安全を守るために取り組むことができれば、子どもに最も良い結果をもたらすことができるという考え方に由来しています。このモデルは、子どもたちの安全と福祉（ウェルビーイング）を高めるために、ドメスティック・バイオレンスサバイバーのパートナーとなること、ドメスティック・バイオレンス加害者に介入するための枠組みを提供します。

\* 50ドル（クレジットカード支払い可能）・1年間何度でも受講可

[www.safelandtogetherinstitute.com](http://www.safelandtogetherinstitute.com)



**GLOBAL LEADER  
LOCAL PARTNER**